



9

2016

主 題 (2016/2017)

国 際 会 長	Our Future Begins Today 「私たちの未来は、今日から始まる。」
ア ジ ア 会 長	Respect Y's Movement 「ワイズ運動を尊重しよう」
西日本区理事	Energizing Y's Men's Clubs with the Y's spirit 「ワイズ魂で、更なるワイズの活性化を！」
中 西 部 長	Think globally, Act locally 「世界をみつめ、地域とあゆむ。」
大阪クラブ会長	Y's Spirit Forever 「ワイズの心は永遠に」

会 長	北 村 知
直 前 会 長	三 北 村
副 会 長	知 三
	森 嶋 弘
	豊 島 正
書 記	利 本
会 計	脇 本
プ リ テ ン	博
連 絡 主 事	清 水 汎

【今月の聖句】

「主を畏れることは、知恵の初め。聖なる方を知ること、分別の初め。」

箴言 第9章10節

【聖句に寄せて】

牟 大盛

私たちは、人生を豊かに生きるため、社会生活・家庭生活・職場生活は勿論、人間関係においても、常に競争原理が働いており、自分も知らないうちにいつも勝ち抜くことこそ「豊かな人生の近道である。」と思ひ込むのが、普通の我々である。

しかし、聖書では、主を畏れることは知恵の初め、聖なる方を知ること、分別の初めと言っています。つまり、人間の間でいくら競争しても、真の勝利、真の喜びは無いと言っています。また、知恵は黄金にも勝り、永遠なるものと言っています。

人は、信じるべきものでなく、愛するべきものなのです。神を畏れるとき、感謝と謙遜、そして成熟した分別ある人生を歩むことができるのです。

於：HH キャンプ開会式

【9月例会プログラム】 (メネット月間)

とき：2016年9月13日 (火)

18:15～21:00

ところ：土佐堀YMCA 904・5号室

会費：ビジター 1000円

司会：脇本真知子メネット会長

1. 開会の鐘 北村知三会長
2. クラブソング
3. ゲストメネット紹介
4. 会長報告



5. 「日々の糧」 斉唱・晩餐
6. 会食
7. 「HH国際キャンプ報告」 藤岡宏樹事務長・HHリーダー会役員各位
9. 誕生日・結婚記念日のお祝い・ニコニコ
10. インフォメーション
11. YMCAニュース
12. 閉会の鐘

北村知三会長

受付：北村・崔メネット・牟

【第2例会のご案内】

とき：2016年9月20日（火） 19：00～21：00

ところ：大阪土佐堀YMCA 703号室

（変更になることもあります）

★今月の誕生日：牟大盛（1）、尾和信孝（10）

★メネットさんお誕生日：清水佐智子（10）、北村信子（11）

★ご結婚記念日：村井達司（23）

【巻頭所感】

清水 汎

暑さが年々厳しくなってくるように感じます。

又、世の中も生きる厳しさを感じる出来事が多くある様に思います、日本は西洋文明を早く学び、近代化をアジアで最も早く達成したのでありますが、最近中国始めアジア各国で急速に文明の近代化が進み、人件費の安いアジア諸国に技術、価格面で圧倒されるようになり、多くの人を雇用していた大企業が、競争に負けるようになっていきます。日本はあらゆる面で、多くの矛盾を抱えたまま生き延びなければなりません。

天皇の生前退位の意向が、天皇より示唆されたのでありますが、全身全霊で行事を終えられる天皇の心を思う時、心中十分思いお察しすることが出来ると思います。新しい世に、日本人全体が新しい覚悟で平和を尊び、人心を和らげる世を作り出さなければ、その存在が問われる時がやってくるものと思います。

【8月出席状況】

区 分	在籍数	出席数（%）	メネット	ビジター ゲスト
正会員	12	9（75.0）	3	30
広義会員	2	0	0	0
計	14	9	3	30

（HH国際大会開会式含む）

★メネット：脇本真知子・清水佐智子・森嶋幸代メネット

★ビジター：中西部9クラブワイズメンズの皆さん

【8月第2例会・役員会報告】

日時：2016年8月16日（火） 19:00～20:30

場所：徐園 2階

出席者：北村会長、清水汎、脇本博、藤岡宏樹、牟メン、脇本メネット会長

協議事項：

1) 9月例会：メネット月間

議題：「月のHH国際キャンプ報告会」とする。プロジェクターなど準備する。

司会：脇本メネット会長、受付；崔メネット、北村メネット、牟

HHリーダー会も参加報告をする。メネット会から、茶菓子の提供予定。

—10月例会以後の講師について：講師 茨木クラブ 塚理メン

藤岡コメットのパサデナ報告

—11月例会：講師について—中西部のスピーカーバンクから選ぶ。

—12月例会：クリスマス茨木クラブ合同例会 出演：DUO（山原さん）仮予約

ホスト：大阪クラブ

2) HH国際大会の件：2016年8月8日～8月13日間、場所：六甲山YMCA

スローガン：one for all, all for one

① 8月8日の開会式チケット購入した中西部クラブへのごあいさつを会長名でする。

② 大阪クラブからの拠出金について：HH基金から30万円程度を拠出する。

（関連献金：開会式・グローバルファンド・西区の支援などを含めてクラブ実績とする。）

③ 来年、2017年度 都合により台北でHH国際キャンプ開催予定との事。

（来年、国内キャンプは無いとの事）藤岡メンからご報告あり。

3) その他協議事項について

—大阪クラブEMCの件：YMCAリーダーなど幅広く集う。

① 9月22日（木・祝）チャリティラン（鶴見緑地）参加チームの件

例年どおり、2チーム（計6万円）とし、藤岡メンをHHリーダー会の窓口とする。

② 現在の例会の改善として、日時、場所、食事などについて検討の件：今後の課題とする。

—その他

① 各部会：8月28日 中部部会、9月3日 中西部会（北村会長・脇本真知子・末岡祥弘・清水汎・條イサヨ・田尻忠邦・藤岡宏樹・牟8名）

メネット会参加者（牟・脇本真知子）

9月4日 阪和部会：清水汎、9月11日 京都部会：豊島正利、

10月2日 九州部会、8日 びわこ部会他

② 11月3日（木・祝日）土佐堀カーニバルの件：例年どおり森嶋メンに依頼する。

4) IBC パサディナクラブへのホームステイ派遣の件：一再確認

—今年は大阪クラブから、藤岡宏樹メンのご長女の派遣期間は9月1日～15日となった。

—クラブからパサディナクラブへのお土産：クラブのワイズスプーン20個とする。

5) ブリテン編集の件：清水汎ブリテン委員長

—HH国際キャンプ報告などそれぞれ記事を配分した。

以上

【HH 国際キャンプ開会式報告】

北村 知三

第36回目となるHH国際キャンプは、8月8日(月)午後6時半から、大阪YMCA土佐堀館2階大ホールでのウェルカムパーティから始まりました。

ウェルカムパーティは、大阪クラブが主催ではありますが、プログラムの企画は主に西村智美会長のHHリーダー会が、藤岡委員と一緒に進めてくれました。大阪クラブは開会式ウェルカムパーティのチケットをワイズメンに買ってもらい、支援献金することで80枚分を引き受けました。まずクラブ内有志で20枚分を購買してもらいました。そして残りの60枚分について、6月18日の中西部準備評議会で、他の8クラブの会長に、それぞれのクラブメンバー数に応じたチケット枚数を渡して販売依頼しました。

評議会から一か月余りで50枚分は売れており、残りについても当日渡しでほとんど目標達成となりました。これも中西部ワイズメン皆様のあつご協力のたまものと思っております。前日まで電話で参加をお願いし、35名ほどのワイズメンに出席していただきました。マレーシア、香港、台湾、ミャンマーなど海外からの参加者30名、国内参加者20名弱のキャンパーにとっても、日本の多くの方々に支援されているとの連帯感、安心感を持ったものと思っております。当日参加者は、キャンパーのほかに通訳などのボランティア、リーダーやスタッフなど、ワイズメンを含めて130名ほどの出席者となりました。受付は主に清水メネットと脇本メネットにお願いしました。

パーティーは、空手道の演武から始まり、中川善博大阪YMCA会長の開会あいさつ、北村の主催者あいさつ、来賓紹介として各法人役員と、出席したワイズメンズクラブの紹介がありました。シンエイフードに依頼したビュッフェ形式の食事は、海外の人たちに配慮したアレルギー食や宗教食、ベジタリアン食などにお皿を分けて出しました。参加人数からすると大分多めの料理の量となり、飛行機の関空着が遅れた香港の参加者グループが、パーティーの半分以上を過ぎたところに会場へ着いて、食事時間が十分とれなかったこともあり、食べ残し量が多くなってしまい、もったいないことになりました。交流プログラムとしてビンゴゲームが半分ぐらい進んだところで時間が押してしまい、ゲームを中断して、キャンプのインフォメーションとなりました。8時半を過ぎたところで末岡総主事のあいさつがあり、閉会となりました。キャンパーはバスに分乗して、9時ごろには六甲山YMCAへ向かいました。

クラブからの出席者は、清水さんご夫妻、脇本さんご夫妻、條さん、牟さん、森嶋さんご夫妻、北村、それに、YMCAからの末岡さん、田尻さん、藤岡さんでした。

HH国際キャンプが成功裏に終わったいま、藤岡さんとHHリーダー会の皆さんに本当にお疲れ様ということができると思います。

【第36回YMC A.H.H.(Hard of Hearing)国際キャンプ無事終了！！】

HH国際キャンプ事務局長 藤岡 宏樹

8月8日(月)～13日(土)の期間、六甲山YMCA・グローバル・ラーニングセンターにおいて、東南アジアを中心に62名のキャンパー(香港、台北、ミャンマー、マレーシア、日本)が参加しました。今回のキャンプは、大阪YMCA全体で取り組むとともに、実行委員会のサポートの下、HHリーダー会(キャンパーOB/OGが中心となって3年前にできたYアクショングループ)が中心となって企画運営され50名を超えるボランティアに支えられ開催されました。

1975年から始まったこのキャンプは、アジアの聴覚障がい者が広く内外で交流を深め、参加者自身の精神的な成長や世界について知識を広め、グローバルな視点に立って物事を考えられる力を身につけ、地

球市民としての成長を手助けすることを目的としています。

今回も多くドラマがあり、感動的な場面がいくつも見られました。キャンパー一人一人の成長はもちろんですが、支えてくださったボランティアやリーダー、スタッフの成長も感じられたキャンプでした。

ここに参加者からの声の一部を紹介いたします。（*8/12(金)振り返りプログラムより）

・「最初は手話もわからず、他の国の人とも交流できなかった自分が、リーダーをはじめ、ボランティアはもちろん、キャンパーから何度も声をかけられ、だんだんと心が開かれていき、プログラムを楽しむことができるようになった。今では、メールの交換もして、これからもずっと友達としてつながっていけるようになったことがうれしい。」

・「国際手話をできるようになれば、もっとたくさん交流できることが実感できた。」

・「英語を話したり、理解したりすることは無理だと勝手にあきらめていたが、このキャンプに参加して努力すればできることが分かった。英語を理解して話せるように絶対練ってやろと思っている。」

・「自分も世界に飛び出していける人になりたい。夢は、海外の大学進学と世界1周！」

また、中には、「YMCAのスタッフになりたい。」と言ってきてくれるキャンパーもいました。

多くの皆様に支えられ、無事に終了いたしましたことをご報告させていただきます。

次回第37回は、2017年台北で開催されます。引き続きご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

追伸：今後、HHリーダー会は、以下のイベントを中心に今回のキャンパーとともに皆様とも交流を図ってまいります。

・チャリティーラン〔9/22(祝・木)〕：2チーム参加

・土佐堀ファミリーカーニバル〔11/3(祝・木)〕：カレー屋さんとして参加

・英語寺子屋〔毎月第4土曜日〕：土佐堀もしくは南YMCAにて開催

以 上

【HHキャンプに参加して】

篠 イサヨ

私は都合で8日から11日まで参加した。体調のこともあって例年のように手伝えなかったけれども、キャンプ経験者が多勢ボランティアリーダーとして参加していたので、懐かしい顔に出会えた。中には宇野先生と一緒に参加していたころの人もいたので、びっくりした。

8日の午後、外国からのキャンパーや日本のキャンパーが次々と到着し、大阪クラブのメネットさんと受付をした。開会式や歓迎会の司会や進行はリーダー会の荒木彩音さんとキャンプOBでもあるNHKの手話通訳キャスターの野口岳史さんが勤めました。日本の手話通訳は万並夫妻と浜崎さんが担当、国際手話はろうの牧師の郡さんが担当。開会式での主催者挨拶は北村会長がした。開会式の後の歓迎会でのバイキングは十分楽しんでもらえたようだった。交流プログラムの名前ビンゴゲームは人数が多すぎて名前を集めて終わった。賞品を準備されていたようだったが、記念品交換をして総主事の挨拶で閉会、閉会后バスで六甲YMCAへ。

9日は4グループに分かれて旗づくり、竹のクラフト(流しそうめん用のとい作り)、伝達ゲーム(見た絵を同じように描いて伝えていく)、ガガボール(初めて見たゲームだったが、体験した外国からのキャンパーが、とても楽しかったので、国に帰ったら友人に教えると言っていた)、ぴんぽん球をテープで止めてあるものを積み上げて、ピラミッドづくり、もう一つはカヌーに乗ってカラーボールすくい。色によって点が決められていて合計得点を競う。などいろいろなゲームを楽しんだ後、サンホールで郡さ

んの国際手話による話を見る(聞く)。夕食はグランドでバーベキュー。終わるころ打ち上げ花火。山の中なので、かなり大きな花火が上げられた。片付けた後10時からスタッフミーティングがあったが前日も夜遅かったので、私は入浴後眠ってしまった。

10日の午前中は2グループずつに分かれてインスタントラーメン博物館で体験。午後はろう者が働いている会社の見学に。A班はシャープ特撰工場へ。私は住友精密工業の方へ。ろう者が働いているところを見学し、ろう者自身にそれぞれの仕事の内容などをそれぞれの仕事場で説明してもらい、最後に1室に集まって質問し、答えてもらった。その後エキスポシティで1時間ほどグループ行動の後、六甲YMCAへ。夜ワイズのメンバーがすいかとお菓子を持って来てくれた。時間の関係でゆっくり交流できなかったが。

11日は朝食は弁当にして三宮勤労会館へ。朝食を済ませてホールでテーマパークの準備。10時の受付開始前から一般ろう者が会場に集まり始めた。キャンプ経験者の顔もあった。ろう者による音楽を視覚的に表現した映画「リッスン」の上映。続いて映画「ゆずりは」の監督でもある早瀬さんの講演。次にキャンパー以外の日本のろう者による空手、和弓、居合いの試技を見る。次は国ごとにキャンパーによるダンスの発表。日本チームはよさこいソーランと盆踊り。みんな練習の成果がよくでていた。ステージ以外のクラフトのブースもたくさんの人が体験していた。3時過ぎにクロージングセレモニーをし、片付けの後、三宮の4つの店に分かれて夕食に。私は夕食の後みんなと別れて帰宅した。一番人手の必要な12日に手伝えなくて申し訳なかった。何はともあれ無事終わって良かった。来年は久しぶりに台北が主催してくれるようだし、良かった。

【六甲キャンプへの支援】

清水 汎

大阪YMCAの大きな支援事業であるHHキャンプ、視覚障害青少年国際キャンプが大阪で2016年8月8日～13日間開催されました。

8月8日、マレーシア10名、台北10名、ミャンマー6名、オーストラリア、香港12名、海外から38名、国内24名の参加があり、HHリーダー、留学生、ボランティア、ワイズメン総計130名の参加のもとYMCA会館で開会式があり、その晩より六甲キャンプで宿泊され最後大阪長居で宿泊、5泊6日の行程でした。

8月10日、牟書記、脇本メネット、私の3名で牟メンの車に乗せてもらい、六甲キャンプまで大きなスイカ5玉、お菓子類段ボール10箱を積み参加者に陣中見舞いを行い、皆様大変喜んでおられたようです。六甲キャンプに宿泊しながらいろいろのキャンプ生活を楽しみ、日本の文化、参加同士の交流を行い、グループのディスカッション、映画等楽しみ、市内の工場見学、最後に市内観光を楽しまれ、8月13日無事帰国されました、YMCAのスタッフの皆さん、また支援の皆さん本当にご苦労さんでした。

日本で障害者の施設で多くの人が事件に会い、大変な事が起きました。YMCAが、社会の弱者の支援に取り組んで居られることは、大変な社会的意義があり、ワイズメンの方々の出来るだけの支援をお願いいたします。

【夏期交換留学生について】

国際交流事業委員 脇本 博

いよいよ藤岡満寿美さん9月1日出発です。パサデナで2週間滞在し、大阪、パサデナ両クラブのIBC活動に協力していただきます。実りある滞在でありますよう祈っております。フライトスケジュールをご

案内します。

往路	JAPAN AIRLINES	JL060	2016/09/01 (Thu)	
	Departure	09/01 (Thu) 17:25	OSAKA/KANSAI KIX	Terminal 1
	Arrival	09/01 (Thu) 12:15	LOS ANGELES LAX	Terminal B
帰路	JAPAN AIRLINES	JL069	2016/09/14 (Wed)	
	Departure	09/14 (Wed) 14:05	LOS ANGELES LAX	Terminal B
	Arrival	09/15 (Thu) 18:15	OSAKA/KANSAI KIX	Terminal 1

見送りまた出迎え等、IBC 委員が予定しておりますが、クラブとしての活動ですので、参加できる人は関空まで出向いてください。尚、大阪クラブからパサデナクラブへのお土産としてワイズスプーン 20 本、満寿美さんに届けていただくことになりました。

8 月 18 日に当方から派遣する夏期留学生の受け入れ体制について、ホームステイ先は何軒の家庭かまた現在の会員数をパサデナクラブ会長の Jeff に問い合わせましたところ 8 月 19 日に下記の返事をいただきました。抄訳です。

皆さんお元気ですか。メールありがとう。夏休中で皆と相談はまだできてないのですが、四つの家庭にホームステイすることになります。活動計画については満寿美さんの希望に沿えるよう博物館 (LACMA)、メジャーリーグ観戦、ミュージカル鑑賞等へお連れするよう予定しています。

現在パサデナクラブの活動会員は 6～7 人です。現地の YMCA と関係のある人はこのなかに含まれていません。満寿美さんには現地 YMCA の活動やプログラムについて研究している YMCA スタッフと一緒に短時間活動して貰います。この人たちは私達クラブメンバーよりずっと若く満寿美さんも楽しめるでしょう。ディズニーランドやロス近郊のテーマパークにお連れすることになります。

近々、ホームステイ先を最終的に決め、家庭の名前と、連絡先、各家庭での活動を含めて連絡します。カリフォルニア滞在中、満寿美さんが素晴らしい時を過ごせるよう心がけます。

9 月 1 日、ロス空港で満寿美さんと会えることを楽しみにしています。
大阪クラブの皆様によりしくお伝えください。

パサデナワイズメンズクラブ会長
ジェッフ・ブランディーン

Hello Hiroshi,

Hope all is well with you. Thank you for your message, We are still coordinating Masumi-san's home stay schedule with our different club members. We still have a couple people finishing up their summer vacations so I have not had a chance to speak to them yet regarding their hosting responsibilities. I think we will have Masumi-san stay with about 4 different families during her time here in CA. I will coordinate with our members to make sure Masumi-san meets all of her wishes on her list such Museums (LACMA – very popular!), Dodger baseball games, musicals, etc. We only have about 6-7 regular club members at the

moment but this does not include resources we have with our local YMCA. We may have Masumi-san spend a short time with some of our YMCA staff learning about local YMCA activities, programs, etc. Most of these people are much younger than our Club members so she may enjoy meeting them and perhaps also going to Disneyland or another local theme park here in Los Angeles. In the next few days, I will put together a final home stay schedule for Masumi-san that will include the name of the family, contact information and expected activities planned with each family. We will make sure Masumi-san has a wonderful time during her stay in CA & US.

We are looking forward to meeting Masumi-san at LAX on September 1st. Best wishes to you and the other members of the Osaka Club.

Best Regards,

Jeff Brandeen

President

Pasadena Y's Men's Club

【主なスケジュール】

- ・第20回 西日本区大会 2017. 6. 9 (金) ~ 6. 11 (金) 熊本市民会館 ホテル日航熊本
- ・2016~2017 各部会予定

びわこ部	2016. 10. 8 (土)	彦根
京都部	2016. 9. 11 (日)	グランドプリンスホテル京都
阪和部	2016. 9. 4 (日)	和歌山YMCA 6F
中西部	2016. 9. 3 (土)	ホテルグランヴィア大阪
六甲部	2016. 11. 12 (土)	西宮
瀬戸山陰部	2016. 10. 15 (土)	ピウユアリテまきび
西中国部	2016. 10. 29 (土)	山賊
九州部	2016. 10. 2 (日)	ANAクラウンプラザホテル熊本

【大阪YMCAニュース】

田尻 忠邦

☆第36回HH国際キャンプ無事終了のお知らせ

8/8(月)~13(土)の期間、六甲山YMCA・グローバル・ラーニングセンターを中心に開催されました。標記キャンプは、無事に終了いたしました。

参加者からは、多くの称賛の声が寄せられ、今回もYMCAの使命に沿った有意義なキャンプでありました。

参加者からの声 (*8/12(金)振り返りプログラムより)

- ・「最初は手話もわからず、他の国の人とも交流できなかった自分が、リーダーをはじめ、ボランティア

はもちろん、キャンパーから何度も声をかけられ、だんだんと心が開かれていき、プログラムを楽しむことができるようになった。今では、メールの交換もして、これからもずっと友達としてつながっていけるようになったことがうれしい。」

・「国際手話をできるようになれば、もっとたくさん交流できることが実感できた。」

・「英語が喋られるようになりたい。」

・「自分も世界に飛び出していける人になりたい。」

など、狙いに沿った意見がたくさん寄せられました。

中には、「YMCAのスタッフになりたい。」と言ってきてくれるキャンパーもいました。

このたびは、皆様からの多くの支援に助けられたキャンプでした。また、報告会を持ちたいと思いますので、よろしくお願いいたします。本当にありがとうございました。

☆第 281 回 早天祈祷会

日時...2016 年 9 月 16 日(金)7:30～8:30

証し...小寺 規久子さん（大阪YMCA 中高齢者事業 スタッフ）

場所...大阪YMCA会館 10 階チャペル

☆2016 チャリティーランへのご支援のお願い

9 月 22 日開催のチャリティーランへのご支援、ご協力をいただき、ありがとうございます。

引き続き、以下のご支援をお願いいたします。

①寄付によるご支援、②抽選券購入によるご支援、③オリジナル T シャツ購入によるご支援

＊記念 T シャツへの協賛広告につきましては、応募多数のため締め切らせていただきました。ご協力に心より感謝申し上げます。

チャリティーランの特設サイトもぜひご覧ください。

<http://www.osakaymca-action.org/Events/OsakaYMCA-International-charityrun/2016/sponsor.html>

お申し込みは、各連絡職員までお願いいたします。（Web からもお申し込みいただけます。）

以 上

【大阪YMCA視聴覚障害青少年育成基金収支報告】

自 2015年7月 1日

至 2016年6月30日

・収入の部

項 目	予 算 額	収入実績	適 要
前 期 繰 越 金		2,631,679	
雑 収 入		523	利息(普通:¥94.-, 定期:¥429.-)
寄 付 金		175,900	* (明細は下記)
CS 資 金 援 助 金		0	
合 計	0	2,808,102	

* 寄付金入金明細 (敬称略、入金順)

メンバー献金 141,900 円 (内訳: 井上公男 (大阪西) 5,000 円、西村智恵 (HH リーダー会) 3,000 円、石橋ルキ 50,000 円、五条孝次郎 23,100 円、森嶋弘明 10,800 円、條イサヨ 50,000 円)

メネット会献金 10,000 円、 なかのしまクラブ 4 月例会献金 24,000 円

・支出の部

項 目	予 算 額	支出実績	適 要
手 数 料		0	
次 期 繰 越 金		2,550,470	(下記 ※内訳)
HH キャンプ支援金		257,632	①2015 年紀泉 HH 国内キャンプ支援金:¥200,000.- ②オリーブオイル販促費: ¥43,632.- ③チャリティボーリング会参加費: ¥14,000.-
合 計	0	2,808,102	

【次期繰越金内訳】

現 金	63,712	
普通預金	465,858	
定期預金	2,020,900	
計 :	2,550,470	※

注: 上記に 8 月の HH キャンプ分は含まれておりません

2016 年 6 月 30 日

会計監査 清水 汎

★HHキャンプ基金への献金

今回のHHキャンプを含む、聴覚障がい青少年育成基金への献金を列記いたします。

但し、2016年7月以後の分です。(2016年6月までの献金明細は、前述の基金報告書をご参照ください)

(敬称略)

中西部各クラブチケット売却献金 (9クラブ78枚売却)	¥272,000.-
その他(YMCAスタッフや関係者など) チケット売却献金	¥40,000.-
牟 大盛	¥50,000.-
西日本区からのY‘サ事業補助支援金	¥200,000.-
大阪クラブ	¥300,000.-

また別途、YMCAのグローバルユースファンドのHHキャンプ指定献金として列記します。

(この分については、前述の基金報告書に報告されていませんので、6月以前も含みます)

(敬称略)

條 イサヨ	¥150,000.-
脇本 博	¥200,000.-
清水 汎	¥100,000.-
北村 知三	¥80,000.-

クラブメンバーのほかに、中西部の他クラブからも献金していただいておりますが、特に、前期の吉田Y‘サ事業主査の企画で献金していただきました、なかのしまクラブさんからの、①六甲山ワークキャンプでの支援金募金 ¥43,952.- ②なかのしまクラブ4月例会での募金献金¥24,000.- ③お願いした開会式チケット全部購買していただいた ¥40,000.-、計¥107,952.- 献金いただきましたことをご報告します。

皆様のHHキャンプへの支援をあつくお礼申し上げます。

【ワイズ川柳コーナー】

私の作品を含め川柳コーナーを設けました。遠慮なしに投稿下さい。

手鏡 の 思いと 違ふ 歳の顔	真昼時 わが 影も無く バスを待つ	風鈴 の 暑さし のぎ 楽しみに	世の底で 熱中症 の 声を聴く	懐も 暑さに 負けじと うなぎ 喰う	ワイズメン 誇りを 持て ボランティア
-----------------------------	--------------------------------	--------------------------------------	------------------------------	--	--------------------------------------

【編集後記】

暑さもお盆までと言われていますが、天候異変か暑さがまだまだ続くようです。お互いに体を大切にしましょう。

大阪YMCAの大きな事業である、HHキャンプが無事終わり、アジア各国の参加者が楽しいキャンプだったと喜んで帰国されました。中西部、大阪クラブの皆さんの多大なる支えで出来たことで心から感謝いたします。

(編集委員：清水 汎)